

# ❀❀ 八王子国際フレンドからのメッセージ ❀❀



## 韓国



### プロフィール

- 名前：金ユニ（キム ユニ）
- 出身地：韓国忠清北道清原郡  
（チュンチョンブツト）（チョンウォンゴン）
- 日本在住：2年
- 趣味・特技：料理、映画鑑賞
- 大学：東京純心女子大学現代文化学部 3年

## 🌿 日本での暮らし紹介 🌿

始めまして。私は韓国の忠清北道（チュンチョンブツト）出身の金ユニ（キム ユニ）と申します。私は幼い時から、韓国だけでは狭い、もっと広い世界で色々な経験をしたい、と思っていました。そのため、大学はぜひ、海外の大学に行ってみたくて望んでいました。日本には中学時代から興味を持っており、色々な分野で優れていると思ったので、日本への留学を決めました。

日本に来て、今年で3年目になります。私は高校を卒業してから、日本語学校に通わずに直接大学に入学しました。そのため色々苦勞もりましたが、振り返ってみると、自分は随分と成長したなあ、と思います。

日本での生活は毎日楽しいです。私は1年生の時から焼肉屋、居酒屋、ラーメン屋など様々な飲食店でアルバイトを経験してきており、今も働いています。アルバイトのおかげで、学校では経験できない、別の社会を学ぶことができました。また、お金の大切さと親のありがたさを感じることもできました。

私はカトリック信者ですので、毎週日曜日はカトリック八王子教会のミサに行きます。カトリック信者が韓国よりは少ない日本で、家の近くに教会があり、本当に幸運だと思っています。また週2回ほど、家の近くの中央図書館で自分の好きな本や卒業論文に必要な本を借りて、読んでいます。

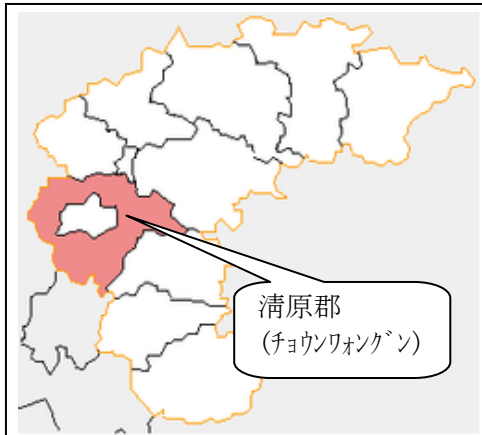
私は卒業後は韓国に帰らず、日本で就職する予定です。今年の夏休みは、ホテルでインターンシップをすることになっています。今まで日本で過ごした2年間の生活がとても気に入っており、卒業後も日本に住みたいと思っています。学校で主に英語の勉強をしていて、英語が好きなので、英語の能力を活かせる仕事をしたいです。また、来年は妹が私と同じ純心女子大学に留学する予定なので、卒業しても妹の面倒を見ていきたいです。



## 母国の紹介

私は韓国の中央に位置する忠清北道(チュンチョンブット)の清原郡(チョウンウォンゲン)出身です。日本に来るまで 20 年近く、ここに住んでいました。昔から先祖代々住んでおり、私の親も同じ地域の出身です。

清原郡(チョウンウォンゲン)は大韓民国の忠清北道(チュンチョンブット)の中部にある郡です。青洲市をドーナツ形に取り囲んでいる特異な地形構造をしています。郡庁は青洲に位置しています。



(清原郡の地図)

(清原郡のデータ)

面積	814.12 km <sup>2</sup>
世帯	60,200 世帯 (2010.04)
人口	150,268 人 (2010.04)
邑(町)	2
面(村)	12



(郡のマーク)



(郡のキャラクター)

郡の鳥—カササギ：勤勉で親近感と安定感のある、郡民の気質を象徴しています。  
郡の花—モクレン：自助・自立・共同の象徴で、未来志向の郡民像を表しています。  
郡の木—ケヤキ：飾り気がなく、温和で純朴な郡民の気質を象徴しています。



## 観光地

～青南臺(チョンナンデ)—大統領専用の別荘地～

約 55 万坪ほどの土地で建てられた大統領専用の別荘で、“南にある青瓦臺(チョンワデ)”という意味の名前です。第 5 共和国の時代(1981 年 3 月～1988 年 2 月)に建てられました。大統領の別荘は全部で 4 箇所がありましたが、全て閉鎖され、ここだけ残りました。

今まで青南臺(チョンナンデ)については秘密にされてきましたが、1999 年 7 月 1 日に写真が初めて公開されました。

青南臺（チョンナンデ）は、金泳三（キムヨンサム）大統領が公式・非公式の休暇を過ごすための場所として愛用しはじめたもので、それ以来、大統領が休みを過ごすための専用の場所として親しまれています。

また、歴代大統領のこの習慣から、「大統領の青南臺（チョンナンデ）での休暇期間が終わると、新しい政局構想があるだろう」という意味の‘青南臺（チョンナンデ）構想’という政治用語が生まれました。

そして参与政府（2003年～2008年：ノムヒョン政府）が始まった後、2003年4月18日に青南臺（チョンナンデ）は20年間続いた秘密のベールを脱ぎ、一般の人々に開放されました。

#### ～文儀文化財団地（ムンイ ムンファゼ ダンジ）～

1997年、清原郡（チョウンウォングン）が、途絶えかけていた伝統文化を再興し、先祖の精神を学ぶために建てた歴史教育の場です。忠清北道（チュンチョンブット）有形文化財の第49号であるヤンバン家屋、民俗資料展示館などをはじめ、10棟の建物があり、昔の生活を見ることができる資料が収集されています。

1988年11月に開館した瓦（ギワ）博物館には、百濟（くだら）時代から近代までの瓦が展示されています。瓦774点に加え、文化的な価値を持っている品々20点など、計200点あまりを展示しています。

団地の中には“遊びの広場”などの施設があり、都内で初めてオープンした自動車専用劇場があり、文儀映画村とも呼ばれています。